

第2回協議会の様子(2008/8/27)



協議会には、十事業者(ユニー㈱、㈱西友、イオンリテール㈱、㈱マイカル、㈱キラヤ、㈱鈴茂

商事、ユープながの、J Aみなみ信州、㈱てくてく、(㈱やまみ)、消費者(関係団体)二十団体(飯田商工会議

所、長野県商工会連合会下伊那支部広域協議会(社)飯田青年会議所、飯伊・飯田市の女性団体連絡協議会、飯田市・下伊那郡の連合婦人会、消費者の会等)、行政(南信州広域連合、十五市町村、下伊那地方事務所)が構成員として参画している。

登録制度では、

登録制度では、

また、協議会では、目標に掲げた辞退率八十%以上を達成するには、レジ袋の有料化(無料配布

は、有料化(無料配布の中止)であることは、先進地でも実証されています。構成員の皆様には、先導役として、効果のある取組をお願いします。循環型社会の形成と地球温暖化防止に向けて、消費者の意識改革が進み、三年後には、マイバッグ等の持参が当たり前の地域になることを願っています。皆様の御支援と御協力をお願いします。

平成23年9月までに、辞退率80%以上を目指しレジ袋削減の取組 10月1日スタート

〜来年2月1日からは、当地域の64店舗以上で有料化〜

七月十七日、循環型社会の形成と地球温暖化防止に向けて、環境にやさしい生活様式への転換を図るきっかけとして、レジ袋の削減を事業者・消費者(関係団体)・行政が協働し、南信州地域一丸となって推進することを目的に、「南信州レジ袋削減推進協議会」が発足した。

協議会では、「レジ袋辞退率を80%以上」とすることを目標に掲げ、十月一日に取組をスタートさせ、来年二月一日には、協議会構成員である事業者の六十四店舗が、足並みを揃えてレジ袋の有料化に踏み切ることとした。

事業者がレジ袋の廃止か有料化又は辞退者への値引きの中から自店にあった削減方法を選択し、協議会に登録して、登録証とステッカーの交付を受け、店内に掲示する。

第一次の募集として、事業者からの登録を九月十九日まで募集し、以降も随時募集を行う。

消費者(関係団体)及び行政は、買い物時のマイバッグ等持参を地域住民に強く求めるとともに、構成員以外の事業者にもこの取組への参加を呼び掛けていく。

また、協議会では、目標に掲げた辞退率八十%以上を達成するには、レジ袋の有料化(無料配布

中止)が最も有効な方法であるとし、来年二月一日から、構成員である事業者等が、先導的にレジ袋の有料化(無料配布中止)に踏み切ることとした。

一方、県全体の動きでは、県内主要食品スーパー、消費者団体、県が三者協定を締結し、マイバッグ持参率(辞退率)六十%以上を目標に掲げているが南信



登録店舗が掲示するステッカー

マイバッグ持参が当たり前の地域に

南信州レジ袋削減推進協議会 会長 今村良子

レポート

十四団体が参加、腕章・帽子の交付式も

南信州・希少野生植物保護対策会議

六月二十日、南信州に自生する希少野生植物の保護活動を行う団体と関係機関(学術団体・警察・行政)が連携して保護対策に取り組むことを目的に、昨年度設立した「南信州・希少野生植物保護対策会議」の本年度第一回目の会議が、阿南町で開催された。

会議には、保護活動団体十四団体と関係機関の職員ら約四十名が参加。阿南町役場で、県環境



保護活動団体の皆さん

保全研究所の尾関研究員によると、「南信州の代表的な希少野生植物の生活環境や特徴について」の講話が行われた後、各団体の活動状況の報告や意見交換を行った。

その後、同町新野地区にある「殿林湿原」に移動し、開花を始めたばかりのササユリの状況や湿原に自生する希少な植物の観察を行った。

自生地を管理する殿林湿原を守る会の田島英征さんからは、

「開花間もないササユリが鹿による被害を受け対策に苦慮している。」「県外からの行楽客がニッコウキスゲを大量に摘んでいたの

で、嚴重に注意をした。」などの報告があった。

長野県・長野県地球温暖化防止活動推進センターでは、顕在化する地球温暖化問題を解決するため、「減CO2(げんこつ)アクションキャンペーン」を実施している。

実施要綱では、実効ある温暖化対策を進めるには、県民一人ひとりが日々の暮らしの中で具体的な温室効果ガス削減のための行動を起こしていくことが不可欠とし、県



お知らせ

「減CO2アクションキャンペーン」皆さんが日頃実践している温暖化防止活動を募集

民が家庭や学校、会社、地域等それぞれの立場で、「温暖化を防止するための行動の主役」となって、活動の輪を広げ、県民運動として展開するため、県下各地で地球温暖化防止のためのアクションを実践するグループ「アクションチーム」を広く募集している。

募集チームは、家庭・地域活動・企業・スクール・エコスタイルの5部門あり、募集チラシ又は専用WEBサイトで応募することが出来る。

①家庭部門・家族みんなで取り組む家庭内のエコ活動 ②地域活動部門・地

域の色々な人達と取り組むエコ活動 ③企業部門・企業や職場などで取り組むエコ活動 ④スクール部門・学校やクラスで取り組むエコ活動 ⑤エコスタイル部門・①④以外の場所や人を限定しないエコ活動や環境に関するイベント

登録されたアクションチームには、登録証が進呈され、活動内容が広報されるほか、優れた活動には表彰もある。

現在、全県の登録チームは百七十三チーム、参加人数は一人を越えている。飯伊地域では、一面に掲載した南信州レ

消費生活に定着しているレジ袋の削減に向けて、「南信州レジ袋削減推進協議会」が高い目標を掲げ、スタートしました。(関連記事一面)

無料レジ袋の習慣から決別するために、消費者は、多少の不便と、代替的機能のあるマイバッグや風呂敷等の使用を甘受し、事業者はサービスの低下を恐れないで、真のサービスを追求することが求められています。

また、行政には、消費者や事業者の取組みを支援していくことが期待されています。

「レジ袋削減の輪」が限りなく広がることを願い、この取組みが大きな自信となって、新たな取組みに繋がって行くことを期待しています。

また、この会議に先立ち、伊那谷自然友の会の小林正明会長から、各団体に保護監視用の腕章と帽子の交付が行われた。

これは、昨年の会議において、保護活動団体から「腕章を付けた巡視が、盗掘等の抑止に効果的」との提案を受け、会の中

心となる伊那谷自然友の会が、県の「地域発元気づくり支援金」の補助を受け製作したもので、黄色の腕章と紺の帽子には、伊那谷自然友の会と各団体の名前が入っている。腕章には「自然を大切に」と柔らかな言葉で、自然保護を訴えている。



友の会から交付された腕章と帽子

編集後記

袋削減推進協議会を始め、現在十四チームと増えているが、更なる参加者の増加を目指し、登録をお願いしたい。(詳細は、環境課まで)

ヤマユリの移植

希少野生動物植物保護監視員 北城節雄（飯田市）

三遠南信自動車道の第二工区の工事が始まっています。その起点となる飯田市千代下村地籍に、県の希少野生植物に指定されているヤマユリが多数生育していることが判りました。

工事の責任者である国

土交通省中部地方整備局飯田国道事務所では、そのヤマユリを移植して保護することを決めました。地元の人達が関わって移植作業やその後の管理をすることが大切なことであると考へ、地元千栄小学校の児童と天龍峡ヤ



マユリ保存の会の方々が、具体的な仕事を進めることになりました。

平成十八年三月、千栄小学校の三年生以上の子供たちは、開発予定地から掘り取った九個のヤマユリの球根を、校庭に作られたビオトープの土手に移植しました。

また、十月には天龍峡ヤマユリ保存の会の会員八名の皆さんが、十九個の球根を、天龍峡第一公園に移植しました。

二年経過したその後の様子は、千栄小学校のものは、九個中三個が活着

感動した孫娘のひとじ

不法投棄監視連絡員 木下耕貴（喬木村）

不法投棄監視連絡員の仕事に就いて三年目を迎えました。喬木村、豊丘村を担当しております。月に四回程度パトロールを実施しておりますが、毎回「今回は特になし」と業務報告が出来ればい

思われるような規模の大きな不法投棄には遭遇しておりませんが、期待は裏切られ、道路、河川敷、山林内にポイ捨てによる家庭ゴミを目にしないことはありません。

止めになって川沿いの道路下に、空弁当の箱が大量に放置されていたものです。

活動等により、以前より減少傾向にあると思いますが、不法投棄ゼロまでにはまだまだ時間がかかるように思われます。

「環境にやさしい買い物キャンペーン」 10月1日(水)～31日(金)

自然環境を勉強しています

希少野生動物植物保護監視員 三浦方也（飯田市）

昨年、長野県、長野市の環境保全と自然保護の活動に参加しています。自然環境の見方も素人で、何のために、どのようにしたら良いのか、確信がなく戸惑っています。

同じ活動をしている松川町の広沢勝則先生から、ちよと良い機会と云うことで、信州大学の「自然環境診断マイスター」の養成講座を紹介して頂き、五月から受講を始めて勉強中です。

この養成講座は、信州大学理学部による、三ヶ月間の集中的な野外実習と講義で、環境関連の教育、行政、観光に携わる社会人が、自然環境を体系的に学ぶ新たな教育事業です。

環境問題の解決や災害防止に向けて、複雑で多様な自然環境を多面的に把握し、解決策を見出せる人を育成することが目的です。

野外実習は動物（菅平高原）、植物（志賀高原）、

地形・地質（上高地）、湖沼（諏訪湖）、気象（科高原）、史跡・遺跡（松本）で、それぞれの現地で調査・測定・解析方法を学びます。

や講義と課題レポートに取り組んでいます。昨年の「秋・冬コース」の卒業生が十六名（受講生二十名）、今年の「春・夏コース」は十八名が受講しています。

今後は、今年の「秋・冬コース」と、来年の「春・夏コース」の二回計画されています。

者には少なく（一期生二名、二期生は私だけ）、自然環境に興味のある方の受講が期待されています。

議体験こども塾」が計画されていることが判りました。

「環境にやさしい買い物キャンペーン」 10月1日(水)～31日(金)



豊丘村のフロンティア倶楽部では、昨年からの地球温暖化防止活動を活動の柱に据え、いくつかの事業に取り組んできました。

いしました。また、事業実施にあたり地球温暖化防止活動実践普及事業補助金を申請し、十萬円の補助金の交付決定を受けました。

この事業を地球温暖化防止活動の一環として位置づけ、諸準備を進めてきました。参加希望者が少人数であったことから、断念せざるを得なくなり、そのことで多くの関係者にご迷惑をお掛けしたことをお詫びし、猛省しております。

「環境にやさしい買い物キャンペーン」 10月1日(水)～31日(金)

「環境に配慮した商品やサービスの選択・購入」・「レジ袋削減」を実行しましょう。